



ときめきの街づくり、はじまっています。

エスプラナード

Vol.007 2018.11

エスプラナード赤坂商店街振興組合
〒107-0052 東京都港区赤坂3-10-5
赤坂クインビル4階
TEL.03-5561-9125 FAX.03-5561-9128
URL:www.e-akasaka.com

ナイトクラブやキャバレーが立ち並び、 街全体がきらびやかだった赤坂。 昭和にさかのぼって歴史を紐解いてみました。

当組合の入るクインビルの隣にある「月世界ビル」。ここには、昭和の高度経済成長期の華やかな赤坂にあって、ひときわ煌めいていたキャバレー「ゴールデン月世界」がありました。月世界ビルの総務部長を務める齊藤久見子氏に、ちょっと心ときめく昭和の時代のお話を伺いました。

**キャバレーを経営していた
祖父が「ゴールデン月世界」を
オープン。**

終戦後、私の祖父は九州でキャバレーを経営していました。祖父は、当時はまだ珍しかった海外旅行に出かけ、ラズベガスでエルヴィス・プレスリーを見て感動し、自分もキャバレーを開きたいと思ったのだそうです。ある方が「東京オリンピック」の景気を見込んで赤坂にキャバレーを作ったのですが、残念ながら経営に失敗し、祖父に声がかかって引き継いだと言います。

こうして誕生したのが、キャバレー「ゴールデン月世界」と、それよりややカジュアルな「ゴールデンゲート」でした。

**トップクラスのアーティストも
出演した、ジャズを楽しむ
大人の社交場。**

当時のキャバレーに必要不可欠だったのは、上質な音楽です。「ゴールデン月世界」には、オープンした時からショーの担当者がいました。

祖父は米軍の中に知り合いがいたことから、米軍が呼んだアーティストに声を掛け、米軍でのライブの後に「ゴールデン月世界」に出演してもらえるよう交渉したのだそうです。当時アメリカを代表するエンターテイナーだったサミー・ディビスJr.や、ジャズボーカリストの女王サラ・ヴォーン、「ダイアナ」のヒットで知られる世界的なポップスの大スター ポール・アンカなども出演してくれたそうです。日本のバンドとしては、美空ひばりのバックを務めていた「シャープス・アンド・フラッツ」も登場していました。キャバレーは、生バンドでジャズやポップスを聴いて踊る、まさに大人の社交場だったのですね。TBSが近いことから芸能人や映画関係者も遊びに訪れ、さまざまな企業の商談や接待の場でもありました。一晩で当時のサラリーマンの初任給がなくなるほどだったそうですから、かなり敷居の高いお店だったと思います。



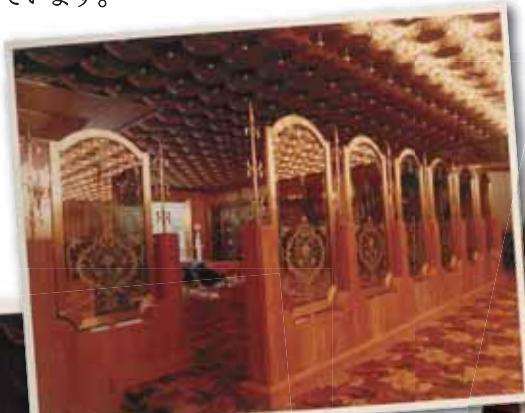
ゴールデン月世界エントランス

**ダイアナ・ロスが
時代の変化をもたらした。**

華麗なる日々にピリオドが打たれることになったきっかけの一つは、ダイアナ・ロスと聞いています。彼女は数々のヒット曲を持つ、言わずと知れたブラックミュージック界の大御所です。デビュー以来、人気が上がり続けスーパースターになると、父は時代が変わったことを実感したそうです。もはや、キャバレーではこのレベルのアーティストを呼べないと。音楽が好きで、人気・実力ともに一流の歌手やバンドをコーディネートしてきた父だから、感じるものがあったのでしょう。その後、時代の移り変わりに合わせて「ゴールデン月世界」をクローズして「月世界ビル」に建て直し、現在に至っています。



目まぐるしく変わる赤坂の街。昭和の時代は、すでにはるか昔のことのように感じてしまいます。しかし、形は違えども、赤坂は今もつややかな大人の街。華やかだった時代の感覚は、受け継がれているのではないでしょうか。たまには、歴史に思いを馳せながら街を歩いてみるのも楽しいものです。



INTERVIEW

真面目なみんなを遊ばせるのが私の役目。 「月の市場」で美味しく飲んでリフレッシュしてください!

現在、数店舗の飲食店が入っている月世界ビル。

その7階に「月の市場」があります。音楽活動をしながらこちらの経営にも携わり、当組合の理事も務めていただいている齊藤久見子氏に、店内をご案内いただきながら思いを語っていただきました。

お店のコンセプトは 明るく美しい南欧の邸宅。

「お店のインテリアは、おしゃれでどこか温かみのある南欧の邸宅のような雰囲気を目指しました」と齊藤氏。ゆとりを持ってテーブルを配置し、通路も広めに取った空間は、全体にとてもゆったりとしています。ブラインドやカーテンを効果的にあしらい、個室感覚で落ち着いて食事が楽しめるのもお店の特長です。窓の外は月の庭というテーマで作られた小庭園です。7階のレストランでお庭があるのは珍しいですよね。お庭の見える個室は5名から30名まで7部屋あり、気軽なお集まりから接待、パーティーまで様々なシーンに使えます。小さな滝の見える席はちょっとロマンチックで、デートなどにもいいのではないかでしょうか。



月世界ビル 齊藤久見子氏

旬の食材を取り入れたメニュー、 お値打ちのコースも大人気。

こちらの人気メニューは、毎日築地から取り寄せる新鮮な魚介のカルパッチョやエビのアヒージョ、サーロインステーキなど。「牛タンのブレゼ」は、2週間かけて作ったソースを使い、牛タンを6時間ほど煮込んだ逸品です。また、アラカルトの他に3,000円から5,500円の

4つのお食事のコースと1,500円から2,500円の3つの飲み放題プランも用意されており、予算やシーンに合わせて組み合わせられるようになっています。飲み放題でもビールはエビス、通常のフリードリンクよりワンランク上のワインから選べるので、コストパフォーマンスはバツグン。「宴会シーズンになるといつも混雑しています」というのもうなずけます。

赤坂の街の活性化のために、 まだまだできることがある。

齊藤氏は、月世界ビルに入社後4～5年ほど経った時に当組合の理

事に就任されたのだそうです。「赤坂は布拉布拉と見て回れる店舗や施設が少なすぎますよね。たとえば、外堀通りに大きなスポーツブランドのフラッグシップショップなどができるらしいのにと思うことがあります。大使館と一緒に何かイベントを開催するとか、また、インスタ映えするスポットを作るだけでも集客につながるのではないかと思うか。また、組合のホームページも、一般の方がより使いやすいようにしていきたいですね」アイデアがどんどん湧いてくる齊藤氏。こうしたご意見を活かしながら、共に街の活性化を目指していきたいと考えています。

[DATA] 月の市場

東京都港区赤坂3-10-4 赤坂月世界ビル7F 03-3585-1650

[営業時間] 月～金 16:30～23:30(L.O.22:00)

土 16:30～22:00(L.O.21:00)

[定休日] 日・祝日

初秋のひとときをスイング・ジャズで彩る 『エスプラナード赤坂 オータムコンサート』。 今年も楽しい演奏と歌で盛り上りました。

毎年、エスプラナード赤坂商店街振興組合の主催で開催する「エスプラナード赤坂 オータムコンサート」。日本のジャズ界を代表するプレイヤーで、港区や赤坂に縁の深いメンバーで構成される「赤坂スイング・オールスターズ」によるコンサートです。今年もたくさんのお客様を迎え、9月8日(土)に行われました。

心動かされる 二人のご挨拶で開幕しました。

第22回目を数えるこのコンサートは、当組合の城所理事長の挨拶、港区長 武井雅昭様のご挨拶で開幕しました。

城所理事長は挨拶の中でこのオ

タムコンサートの生みの親ともいべき寺田茂氏の逝去に触れ、ここに集ってくださった方が心から楽しんでくださることが寺田氏へのつなむけになると語りました。当組合としても、縁の下の力持ちとしてコンサートの開催に尽力してくださった寺田氏には感謝しかありません。

また、港区長 武井雅昭様はご挨拶

の中で当組合の活動について紹介してくださり、赤坂の街には毎年新しい魅力が加わっているとお話しされました。最後は「コンサートの後は赤坂の街に出て新しい魅力を感じてください、ずっと赤坂の街の応援団でいてください」と締めくられ、いつもにも増してあたたかな言葉をいただき、街の活性化を後

押ししてくださいました。

**会場のロビーを
啓蒙活動の場として活用。
週末の集客対策もサポート。**

去年に引き続き、会場のロビーには国土交通省・関東地方整備局 東京国道事務所の取り組みを紹介する11枚のパネルが掲示されました。今回は、「橋」の老朽化対策や大掛かりな工事が必要になる前の予防保全の大切さをわかりやすく伝えるものです。開場を待つ多くのお客様の背後に掲示されていたため、自然に目に入ったのではないでしょうか。また、今話題の「マンホール蓋」と「マンホールカード」を紹介する楽しいパネルも掲示されました。デザイン性豊かなマンホール蓋は各地で人気を博しており、マンホール蓋が

Column

理事長コラム

vol.7

違法駐輪問題への取り組み

違法駐輪対策に取り組みました。
街をよりすつきりと快適に。
違法駐車に続いて

エスプラナード赤坂通りがおしゃれにリニューアルし、1997年に赤坂地下公共駐車場が完成すると、違法駐輪の問題を積み残してきたことに気付きました。赤坂の街を見渡すと、商店の前の道路や地下鉄駅の出入り口に実際に多くの自転車やバイクが放置されており、とても目立ちます。



赤坂には、かつて公共駐車場がなかったのと同様に公共駐輪場がありませんでした。港区に公共駐輪場を設けるように働きかけるため、まず用地候補を探すことから始めたところ、すぐに見つかりました。地下公共駐車場を作ったことによって赤坂見附交差点の一本の横断歩道の位置がずれ、国道246号線の高架下の部分に空き地ができていたのです。自転車やバイクが100台くらい収容できそうな広さで、駐輪場にぴったりです。

この場所は国道の下ですから建設省(現国土交通省)の所管区域です。公共駐輪場にするためには、建設省に足を運び、然るべく申請して了承してもらわなければなりません。

そこで、東京国道事務所の所長に相談すると、すぐに了承してくださったのですが、駐輪場の管理は港区になるとのこと。当時、ちょうど港区で「環境協議会」を立ち上げたところで、私はその委員を委嘱されました。その第一回の会合で「赤坂には違法駐輪が目立ちます。環境協議会として、港区が駐輪対策に真剣に取り組むよう働きかけてはいかがでしょう」と提案したところ、多くの賛同を得ることができました。

その後、建設省で自転車駐輪を担当している部署に出向き、要件を伝えたのですが、その場所は除雪車などの待避場だから使えないというのです。「違法駐輪は早急に解決しなければならないのに、年に一回使うかどうかわからない問題のために空けておくのは理不尽ではないですか」と申し上げても、一

向に話が進みません。あるとき、業を煮やして駐車場問題でお世話になったSさんに相談させていただきました。すると、Sさんはすぐに携帯電話で2~3人に連絡をとり指示をしてくださいました。その翌日、例の建設省の担当者から「駐輪場としてお貸しすることになりました」と連絡がきたのです。

少々驚きもしましたが、建設省の了承を得て港区にとて返し、区も管理を了承し、2001年に公共駐輪場が完成しました。

現在68台の自転車が収納可能で、54台収納可能なオートバイ駐車場も併設され、違法駐輪の解消に一役買っています。



エスプラナード赤坂商店街振興組合
理事長 城所 ひとみ

描かれたマンホールカードもコレクターがいるほどです。こちらは地域活性化のヒントになる展示となりました。「マンホールカード」パネルのご提供は、当組合の会員でもある「日之出水道機器」さんです。

「エスプラナード赤坂 オータムコン



サート」は、もともと赤坂の街の週末の集客対策として企画されたものです。この数年は、コンサートのご来場者様に店舗のご優待サービス付きチラシを配布し、会場にも数カ所にポスターを掲示して、ご優待をアピールしています。

今年は、ご優待サービス参加店が去年より数店舗増え、12のお店が参加してくださいました。コンサート後に実際に店舗を利用してご優待

を受けた方が、多数いらっしゃったそうです。

当組合では、このコンサートを集客やPRの場の一つとしてより活用していただけるように尽力すると共に、赤坂の街を盛り上げていく方法を探っていきたいと考えています。会員様もお気軽にご意見・ご要望をお寄せいただき、各種イベント開催の際にはどうぞお気軽にご参加ください。



港区長 武井雅昭様



橋をテーマにした「道路インフラ保全の取り組み」
提供／国土交通省 東京国道事務所



城所ひとみ理事長

Visit of member
会員様訪問
007
リカーマウンテン
赤坂見附店



こだわりの詰まった店内は、
宝探しのような楽しさ。
きっと、お気に入りの一本がみつかります！

当組合の事務局が入る赤坂クインビルの1階に、今年7月にオープンしたお酒のショップ「リカーマウンテン 赤坂見附店」。こだわりの品揃えで赤坂界隈のビジネスパーソンにじわじわと浸透し、訪日外国人のお客様も増えてきました。

こちらの店長を務める松井裕志氏にお話を伺いました。

ワインとウイスキーにこだわり。
思いがけない日本酒も。

京都に本社があり、関西中心にショップを展開しているリカーマウンテンさん。赤坂見附店は関東で10店舗目くらいの出店だそうです。明るい店舗に入ると、すぐ正面に現在手に入りにくい国産ウイスキーが並び、左側の棚には各国のウイスキー、右側にはワインがずらり。特にシャンパニュやカヴァなどスパークリングワインが充実しています。「このお店の特徴は、ワインとウイスキーに力を入れていることです。リ

カーマウンテンでは、ワイナリーや蒸溜所を巡り、現地から調達しているものも少なくありません。ウイスキーなどは、独占先行販売しているものもあるんですよ。また、お酒のジャンルごとに専任のバイヤーがいて、日本酒専門のバイヤーが酒蔵の方と一緒に開発した商品もあります」と松井店長。

日本酒のコーナーには、「彗(シャア)」というユニークなネーミングの日本酒が置かれています。1994年に木星に衝突して話題になった彗星「シューメーカー・レヴィ」をイメージして商品化されたのだそうです。

「彗(シャア)」の隣には「作(ザク)」という日本酒が並び、人気のアニメを連想させることから、訪日外国人からも人気となっています。12年連続モンドセレクション金賞を受賞した酒蔵が手がけただけあって、味の方も折り紙付きです。

ちょっと珍しいジンやウォッカ、高価なブランデーも揃っており、ギフトや手みやげなどを探すのにもいいのではないかでしょうか。

近隣の飲食店に即日配達。
倉庫代わりに利用してほしい。

「近隣の飲食店様には、ご注文をいたたくと基本的に即日配達しています。一本からお届けし、一回3,000円以上のご注文で配達料も無料となります」すぐにこのワインがほしい…などというときにはとても頼りになります。

「私どもの店をお酒の倉庫や冷蔵庫としてご利用いただけたらと思っています」と松井店長はおっしゃいます。即配達してもらえることで余分な在庫を持たなくてすむのですから、飲食店としては便利に活用したいところですね。

少しずつ、商店街のお店と
関わりを持っていきたい。

オープンしてまだ日の浅いリカーマウンテンさんですが、会社帰りに寄ってくださる方や訪日外国人のお客様が少しずつ増えてきているそうです。赤坂では良いものを求める方が多く、お酒の相談には丁寧にお答えし、同じタイプならコストパフォーマンスの良いものをおすすめするという松井店長。「まだ手探り状態ですが、少しずつでも近隣の飲食店様と関わりを持っていきたいですね」

物販店の少ない赤坂で、こうしたこだわりのお店がエスプラナード赤坂通りに出店するのは、当組合としても喜ばしいこと。街の活性化のために、もっと会員様同士のつながりを作るサポートをしていかれたらと考えています。

[SHOP DATA]

リカーマウンテン 赤坂見附店
東京都港区赤坂 3-10-5 赤坂クインビル1F
TEL:03-3560-6777
FAX:03-3560-6778
営業時間:[月~土] PM 3:00~AM 1:00
[日・祝] 定休日



メリット
いろいろ!

あなたのお店も組合に
加入しませんか？

エスプラナード赤坂商店街振興組合にご入会いただくと、会員様だけの特典と港区商店街連合会の特典を併せて受けられます。この機会にどうぞご入会をご検討ください。

[入会資格]

エスプラナード赤坂通り内で営業を行っている商工業者様

[エスプラナード赤坂商店街振興組合会員様のメリット]

◎当組合ではゴミ処理・リサイクル業者と一括契約。東京都の事業系ゴミ回収より割安で契約可能。

◎通訳サービス、海外TV放送などインバウンド対策を格安でサポート。

◎お店・会社の紹介やPR、クーポンや求人情報などを当組合のホームページに無料で掲載可能。

◎電飾看板事業の収益により、土日の集客対策やシーズンイベントなども企画・実施し、会員様をサポート。

[会費]

月額3,000円を半年ごとにお支払いいただきます。

[港区商店街連合会のメリット]

◎港区商店街連合会発行の区内共通商品券(プレミアム付共通商品券含む)の取り扱いが可能。

◎クレジットカード決済システムの導入が通常より割安。

◎店舗の改装費用の1/2(50万円程度)を港区より助成。※件数限定のため、詳細は港区産業振興課までお問い合わせください。

◎当組合の推薦により、港区商店グランプリへの参加が可能。

掲載ご希望の会員様募集中！

「エスプラナード」に掲載をご希望の会員様を募集しています。編集スタッフが貴店へお伺いし、取材をさせていただきます。会員様の費用は無料となっておりますので、どうぞお気軽にお申込みください。

お問い合わせ

エスプラナード赤坂商店街振興組合 事務局

〒107-0052 東京都港区赤坂3-10-5 赤坂クインビル4F TEL.03-5561-9125 FAX.03-5561-9128
E-mail／esplanade@e-akasaka.com 担当者／二宮 Mobile:080-3084-3339

■商店街の詳しい情報はこちらから

エスプラナード赤坂

